

製品をご使用される前に、必ず取扱説明書をお読みいただき、理解していただいた上でご使用ください。取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。

カタログ内に記載している製品番号は日本国内での使用に限定させていただきますので、ご了承ください。

日本国外での使用につきましては、保証できません。

The models described on the catalogue can only be used in Japan.

Cannot be used outside Japan.

危険 DANGER

- 高所作業での感電に注意してください。
 - 高所での感電は、転落、落下事故を引き起こし、たいへん危険です。
- 作業中は、反力受（レバーソケット、反力レバー）に手や指、および足などを近づけないでください。
 - 反力受があたる箇所に手や指、および足などがいないか確認し作業してください。
 - 反力受はナット（ソケット）の回転方向に対して逆の方向に回転します。ご注意ください。（手や指、および足などのけがの原因になります。）

警告 WARNING

- 反力受は、安定した箇所に正しくあててください。
 - 反力受は、隣接のナットもしくは部材に正しくあててください。
 - 万一、傷つきやすい箇所しかない場合は緩衝板（鉄板など）で保護し安定させてから作業してください。また緩衝板はすべて飛ばないように、確実に固定してください。（事故・けがの原因になります。）
- 感電に注意してください。
 - 雨中や雪中、および濡れた所、湿った所では、使用しないでください。
 - 濡れた手で電源プラグに触れないでください。（感電・火災・漏電の原因になります。）
- 接地（アース）と共に感電防止用漏電遮断器が設置されているかどうか確認してください。
 - 漏電遮断器は、定格感度電流 15 ミリアンペア（mA）以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型をご使用ください。（感電・火災の原因になります。）
- 使用中はレンチ本体（ソケット部は除く）を両手で確実に保持してください。（けがの原因になります。）
- コードは、定期的に点検してください。
 - 万一、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。（感電・火災・漏電の原因になります。）

 **警告** WARNING

- ガソリン・ガス・シンナー・ベンジンなど引火性危険物がある場所では、使用しないでください。
 - スイッチは、閉開時に火花を発生します。また整流子モーターは回転中に整流火花を発生しますので、引火性危険物がある所では使用しないでください。
(爆発・火災の原因になります。)

- アース線は、ガス管に接続しないでください。
(爆発・引火・ガス漏れの原因になります。)

- 高所作業での落下事故に注意してください。
 - ①安全帯を着用してください。
 - ②落下物による危険防止のために、作業場には、ネットや帆布などによる安全策を講じてください。
 - ③作業場の下に、人がいないことを確認し作業してください。特にピンテールの落下にご注意ください。
 - ④心身の疲れを感じた場合は、作業をしないでください。
(転落・落下事故の原因になります。)

- 無理に使用しないでください。
 - レンチや付属品は、その能力範囲内で使用してください。
(能力範囲を超える使用や本来の目的以外の使用は、レンチや付属品の損傷をまねくばかりでなく、けがの原因になります。)

- ソケット、レバーソケット、反力受などのアタッチメント類は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
(取り付けが不完全であると、事故やけがの原因になります。)

- 不意な始動は避けてください。
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。
(誤って起動する恐れがあり、けがの原因になります。)

- 次の場合は、電源プラグを電源から抜いてください。
 - ①使用しない場合
 - ②付属品を交換する場合
 - ③点検・整備を行う場合
 - ④その他、危険が予想される場合
(不意に起動し、けがの原因になります。)

- 分解・改造をしないでください。
(分解や改造は、感電・火災・故障・けがの原因になります。)
(但し、消耗品は必要に応じて交換してください。)

- 使用しない場合は、メタルケースに収納し、所定の場所に保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所あるいは鍵の掛かる所に鍵を掛けて保管してください。
(故障、および誤操作・事故の原因になります。)

- 運転中に異常音・振動・異臭などを感じた場合は、ただちに使用を中止し、電源プラグを電源から抜いてください。
 - お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所まで、ご連絡ください。
(感電・火災・けがの原因になります。)

⚠ 警告 WARNING

- 修理のご用命は、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までご連絡ください。
(レンチの修理知識および技術力のない方が修理されますと、性能を発揮できないだけでなく、事故・けがの原因になります。)
- ご使用になる前に、下記の点検を行ってください。
 - ①ソケット、レバーソケット、反力受などのアタッチメント類/レンチ本体/止めねじ/コード/電源プラグ/コネクター/アース線/アースクリップ/ケース/その他部品などに、変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。
 - ②ソケット、レバーソケット、反力受などのアタッチメント類がレンチ本体に正しくセットされているか確認してください。
 - ③ソケット、レバーソケット、反力受などのアタッチメント類を固定させる止めねじが緩んでいないか確認してください。
(異常がある場合は、使用しないでください。)
(感電・火災・やけど・けがの原因になります。)
- 電源は、銘板表示の電圧で使用してください。
(火災・やけど・破損・けがの原因になります。)
- ご使用の際には、アース線を接地してください。[二重絶縁構造のレンチは除く]
(感電・火災の原因になります。)
- 延長コードはアース線を備えた3心コードを使用してください。[二重絶縁構造のレンチは除く]
 - 1本をアース線として用い、電動レンチ側のアースに接続してください。
(アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。)

⚠ 注意 CAUTION

- 電源は出来るだけ商用電源をご使用ください。
- 発電機を使用する場合は下記の点にご注意ください。
 - ①電源は50Hz-60Hzの高調波を含まない正弦波をご使用ください。高調波を含んでいる電源を使用されますと、レンチの誤作動、あるいは故障の原因となります。
 - ②十分余裕のある容量の発電機を採用してください。
通常、レンチ1台あたり2kW(2kVA)程度を見込んでください。
 - ③電圧は表示電圧の±10%以内となるように設定してください。
 - ④スローダウン機能は使用しないでください。
(スローダウン機能：発電機に負荷が掛からない状態で低回転にする機能)
(レンチの誤作動、あるいは故障の原因となります。)
- エンジン溶接機(ウェルダ)の補助電源は使用しないでください。
 - 電動レンチの制御器を破壊する可能性があります。
 - エンジン溶接機の機種・状態によってはノイズを発生するものがあります。
この場合、電動レンチが正常に制御できなくなる場合があります。
- 電動レンチを使用している周辺で溶接機を使用しないでください。
 - 別の発電機に接続された溶接機であっても、電動レンチを使用中に溶接機が使用されると、電動レンチの制御器が異常な電磁ノイズを受けたり、接地側が悪影響を受けるなどして、電動レンチが正常に動作しなくなる場合があります。
- 延長コードを使用する場合は、その端末での電圧が表示電圧の±10%以内であることを確認してください。